取扱説明書

コンパストレーニングマシーン
コンパクト
レッグEXT

COP-1202C

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  - ・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  - ・１部を保存用として、大切に保管してください。

03-148②L2

もくじ

✲安全上のご注意 …… 3
✲ご使用になる前に …… 8
環境について …… 8
✲各部の名称 …… 9
✲操作方法 …… 10
アーム角度の調節について …… 10
杖ホルダーについて …… 13
足首パッド位置の調節について …… 14
背もたれ位置の調節について …… 15
ランバーパッドについて …… 16
座面角度の調節について …… 17
運動範囲の設定について …… 18
ウエイトの設定について …… 19
ラバーウエイトについて …… 20
✲基本的な運動方法 …… 22
レッグエクステンションでの使用筋肉 …… 22
基本的な姿勢の設定 …… 22
基本的な動作 …… 23
✲お手入れの仕方 …… 24
✲機器の保守・点検について …… 24
✲保証とアフターサービス …… 25
✲仕　様 …… 25

用途

本製品は膝関節のエクステンション(伸展)動作により、大腿四頭筋のトレーニングを行い､起立･歩行の安定､膝関節周囲の可動性と安定性を向上させるためのものです。

特長

- 使用者の体格や運動レベルに応じてアーム角度、座面角度、背もたれ位置、足首パッド位置、運動範囲（開始、終了位置）、ウエイト質量等を調節できます。
- 座面は大型で高齢者の乗り降りに適した高さになっていて、アームを移乗位置に設定できるので、容易にトランスファーできます。

適用範囲

本製品は、ISO 20957 Class SA と ISO 20957 Class IA の基準に適合しています。
本製品は、立ち入りや管理がオーナーにより明確に規定されているスポーツ協会、学校、ホテル、スポーツホール、クラブ、スタジオ、リハビリテーションセンターのような組織でのトレーニングエリアで使用されるものです。また、本製品は管理が行き届く範囲でのみ使用されなければなりません。

✼安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

- ⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの
- ⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの
- ⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

- **禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。**
- **強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。**
- **参　照：取扱説明書参照。**

設置

⚠警告

本製品は必ず水平な場所に設置する

不安定な場所では本体の転倒等の恐れがあります。

十分なスペースと周辺への安全性を考慮し設置する

設置する場所について、アーム部等の可動部が人や障害物に接触し、けがをしたり機器が破損する恐れがありますので、十分なスペースを確保してください。

使用上の注意

⚠注意

本体に寄りかかったり、ぶら下がらない

本体が転倒する恐れがあります。

座面の上に立たない

転倒や落下の恐れがあります。

指導、監視下にない子供を近づけない

指導、監視下にない子供が使用したり、接近すると、思わぬけがをする恐れがあります。

運動前後

警告

運動前後は、エンドストッパーを最下位にして固定し、ウエイトスタックピンを一番下のウエイトの穴に入れアームをロックする

アーム（足首パッド）に触れた際、アーム（足首パッド）が急に動いて思わぬけがをする恐れがあります。

運動を行う際は、周囲に他の人や障害物がないことを確認してから行う

周囲に他の人や障害物がなく、安全であることを確認してから使用してください。運動中のアーム等が周囲の人や障害物に接触すると、けがをしたり機器が破損する恐れがあります。

注意

運動の前に各調節部の固定が確実であることを確認

不完全なままで運動すると、調節部が急に動いて、思わぬけがをする恐れがあります。

運動前後はスタート位置を「0」に戻す

アームが回転し、思わぬけがをする恐れがあります。

機器の使用終了後、背もたれを前の位置（スケール番号 5）に固定する

背もたれに接触し、思わぬけがをする恐れがあります。

床に障害物がないことを十分に確認

床に障害物等が転がっていないことを十分に確認してから機器へのトランスファーを行ってください。

運動は安全な靴や運動向きの服装で行う

服装の一部が可動部に巻き込まれると危険です。

運動中

警告

運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない

運動中にピンが外れると、ウエイトが落下し思わぬけがをする恐れがあります。

運動中は他の人が機器に接近した場合は、運動を一時中止する

運動中のアーム等が周囲の人に接触すると、思わぬけがをする恐れがあります。

運動中は可動部に手足を近づけない

可動部に挟まれて思わぬけがをする恐れがあります。

注意

過負荷となるような無理な運動は絶対に行わない

運動の効果が無いだけでなく、けがの原因となります。

運動中やウエイトが持ち上がっているときは、絶対にプランジャー及びノブを操作しない

その状態でアームの固定が解除されると、アームが急に動いてウエイトが落下し、思わぬけがや機器破損の恐れがあります。

ウエイトはゆっくりと下ろす

下のウエイトに勢い良く当てるような運動をすると、機器の破損の恐れだけでなく、けがの原因となります。

運動中は足首パッドから脚を放さない

ウエイトの急な落下やアームの思わぬ動きにより、けがをする恐れがあります。

無理な姿勢での運動は行わない

運動の効果が無いだけでなく、けがの原因となります。

運動はゆっくりと行う

早く動かすと関節可動域を超え、けがをする恐れがあります。

杖の把持部の向きに注意し、運動中に可動部と干渉しないことを確認

杖ホルダーに差し込んだ杖に、横方向への無理な力を掛けない

各部の調節・設定

⚠ 警告

ウエイトスタックピンを操作するときは、必ずウエイトが一番下にあることを確認
ウエイトが持ち上がった状態でピンを操作するとウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ウエイト質量を調節するたびに、必ずウエイトスタックピンがマグネットで固定されていることを確認
運動中にピンが抜けると、ウエイトが落下したり急激に抵抗が変化し、思わぬけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

アーム及び足首パッドに力が掛かった状態のまま、アームを調節しない
力が掛かっているとアームが急に回転し、けがをする恐れがあります。

背もたれに力が掛かった状態のまま、背もたれ位置を調節しない
力が掛かっていると、背もたれが急に動き身体にぶつかる恐れがあります。

背もたれの調節時に強く押し引きしない
背もたれの抜け止めがフレームに強く当た

背もたれの調節は、必ず背もたれを支えながら行う
支えずにダブルロックノブを操作すると、背もたれが急に動いて身体にぶつかる恐れがあります。

背もたれの位置調節後は、固定が確実であることを確認
ノブが緩んでいたり、ダブルロックノブのピンが穴にきちんと入っていないなど、固定が不完全で運動を行うと、背もたれが急に動き、思わぬけがをする恐れがあります。

アーム調節後は、固定が確実であることを確認
プランジャーのピンが穴にきちんと入っていないなど、固定が不完全で運動を行うと、アームが回転し、思わぬけがをする恐れがあります。

アーム調節の際は、挟み込みに注意
アームと本体の間に手や足を挟むと、思わぬけがをする恐れがあります。

アームを回転させるときは、カウンターウエイトにも注意
アームと同時にカウンターウエイトも回転するので周囲に注意してください。

アーム、足首パッドの調節は、必ずアームやパッドを支えながら行う
支えずにプランジャーやロックノブを操作すると、急にアームが回転したり、パッドが動いて思わぬけがをする恐れがあります。

足首パッド位置を調節後は、ロックノブが確実に締まっていることを確認
緩んだままで使用すると、軸部に無理な負荷がかかり機器が損傷したり、パッドの位置が急に変わり思わぬけがをする恐れがあります。

ランバーパッドの取り付け・取り外し時の注意

- 必ず中央の厚い部分を持ってください。端の薄い部分を持って出し入れすると、パッドが破損する恐れがあります。
- ウエアカバー内側の折り返し部分をまくり上げたまま使用しないでください。運動中の不快感やウエアカバーの耐久性を損なう原因となります。

エンドストッパーにウエイトを強くぶつけたり、ウエイトが接触した状態からさらに強い力をかけない

エンドストッパーが動いて、思わぬけがをしたり、機器が破損する恐れがあります。エンドストッパーはあくまで運動範囲を設定するためのもので、完全なストッパーではありません。

エンドストッパーのノブを緩めすぎない

ノブが抜け落ちると、部品が外れて損失する恐れがあります。

ラバーウエイトピンをウエイトスタックピンとして使用しない

ラバーウエイトピンではウエイトを十分に固定できないため、ウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

エンドストッパーはしっかり固定する

不完全な場合、アームの動きが止まらず、思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンに取り付けるラバーウエイトは 2 枚までで、最大 2.0kg までにする

スプリングカラーは必ず使用し、ラバーウエイトにしっかりと押し付け、確実に取り付ける

未使用もしくは取り付けが不完全な状態で使用すると、運動中にラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンは、一番上のウエイトにしっかりと取り付け、ピンがマグネットで固定されていることを確認する

取り付けが不完全であったり、マグネットが効いていない状態で使用すると、運動中ラバーウエイトピン及びラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

ラバーウエイトピンには、付属のラバーウエイト以外は取り付けない

適切なサイズでないと、ラバーウエイトが落下し、思わぬけがをする恐れがあります。

❊ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.24 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

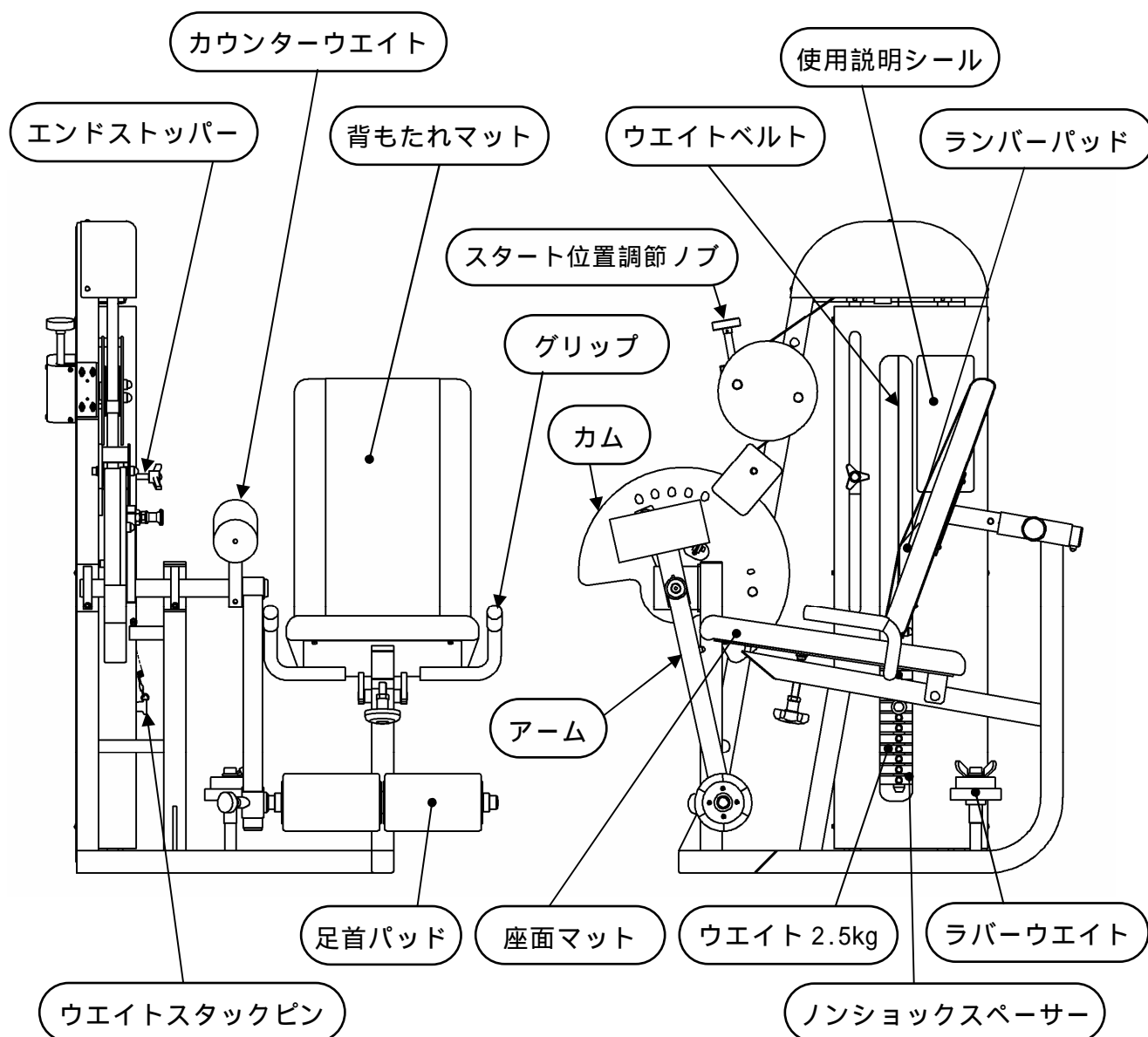
破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

環境について

下記のような場所での使用及び保管は避けてください。

- 室外及び直射日光のあたるところ。
- 水平でない床面や段差の有る不安定なところ。
- 周囲温度が 10℃～35℃の範囲を超えるところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 振動、衝撃の多いところ。

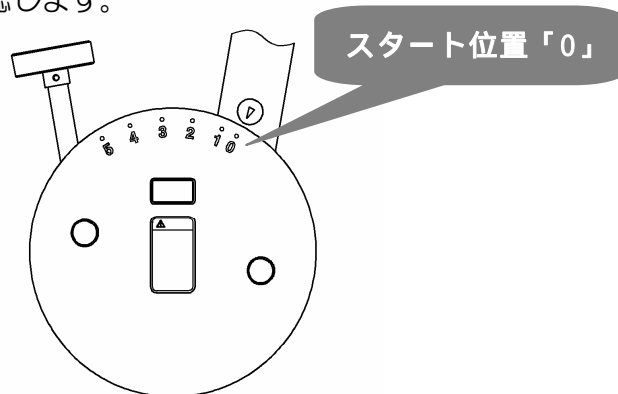
❊各部の名称

コンパクト レッグＥＸＴ　 ＣＯＰ－１２０２Ｃ

※操作方法

アーム角度の調節について

アーム角度は、カム前面にあるプランジャーと、スタート位置調節ノブで調節します。

アーム角度の設定

① スタート位置が「0」であることを確認します。

● 「0」でないときは「0」に設定します。
（P.12 アームスタート位置の調節　参照）

② ウエイトが持ち上がっていないこと、アーム及び足首パッドに力が掛かっていないことを確認します。

③ アームを手で支えます。

④ カム前面にあるプランジャーを引いてアームの固定を解除します。

ご注意

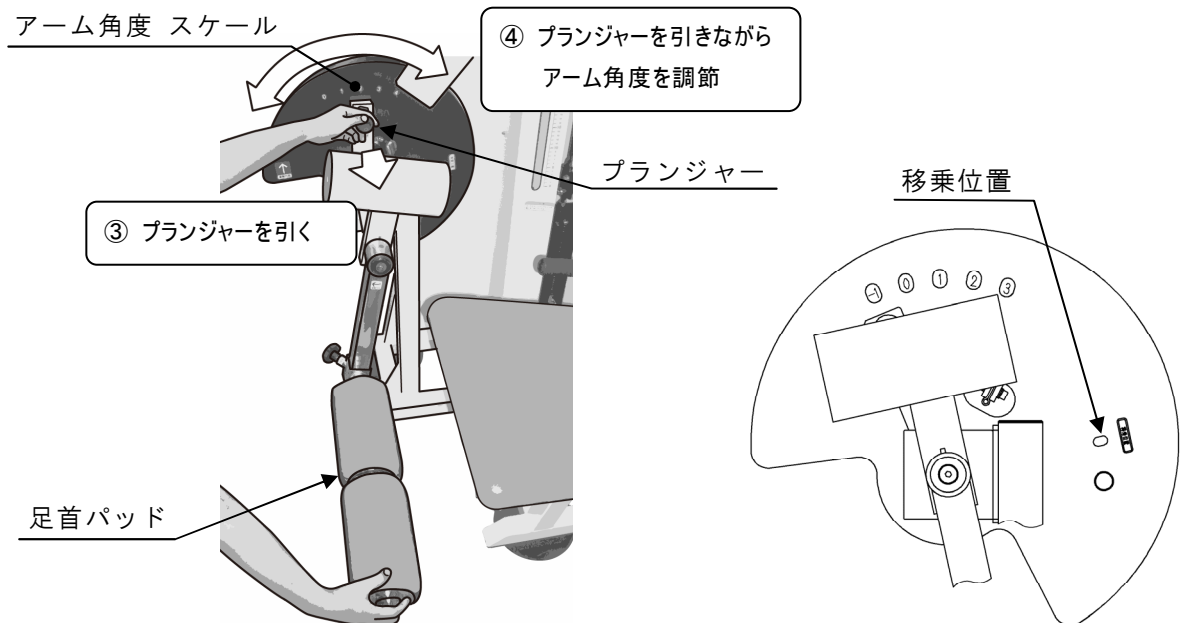
アームの角度によってはアームが持ち上がる場合があるので十分注意してください。

⑤ プランジャーを引きながら、アームを回転させます。

⑥ 固定したい角度付近でプランジャーを戻します。

⑦ アームを少し動かしてプランジャーのピンをカムの穴に入れ、アームを固定します。

⑧ アームを動かしてピンが入っていることを確認します。

 注意

- **運動中やウエイトが持ち上がっているときは、絶対にプランジャーを操作しない**
- **アームの調節をするときは、**
  - ○ **必ずアームを支えながら調節**
  - ○ **アーム及びパッドに力が掛かった状態のまま調節しない**
  - ○ **アームと本体の間に手や足を挟まないように注意**
- **調節後は、プランジャーのピンが穴にきちんと入っていること、アームが確実に固定されていることを確認**
- **アームを回転させる前に周囲に人や障害物が無いか確認**

参考

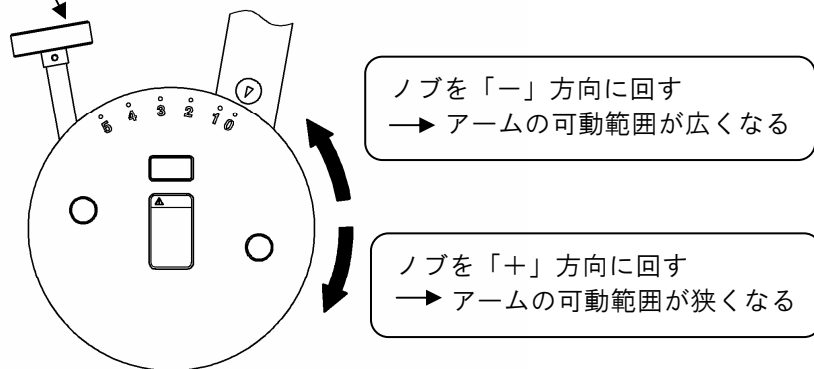
- **移乗の際、アーム角度を移乗位置に設定すると、座面前方にスペースをつくることができます。**
- **アーム角度を「0」に設定したとき、膝関節がおよそ 90°（屈曲）になるようになっています。（基準のスタート位置）**
- **アーム角度スケールは１目盛り当たり 10°で、身体差による調節が可能です。**

アームスタート位置の調節

① ウエイトが持ち上がっていないこと、アーム及び足首パッドに力が掛かっていないことを確認します。

② 調節ノブを回して、スタート位置を調節します。スケールは１目盛り当たり 10°で表示されています。

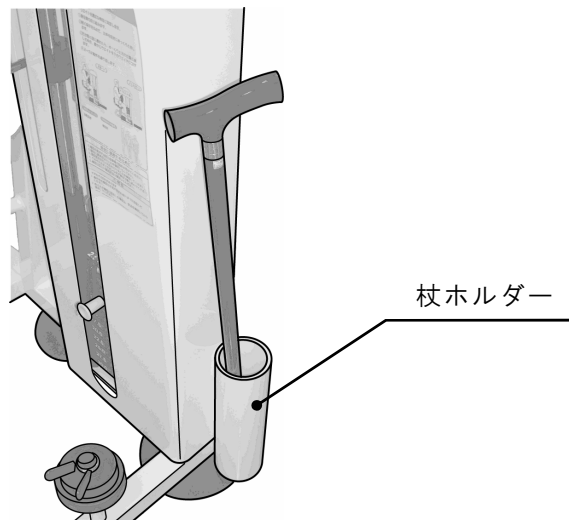
ご注意

アームの角度によってはアームが持ち上がる場合があるので十分注意してください。

注意
- **運動中やウエイトが持ち上がっているときは、絶対にノブを操作しない**
- **アームの調節をするときは、**
  - ○ **必ずアームを支えながら調節**
  - ○ **アーム及びパッドに力が掛かった状態のまま調節しない**
  - ○ **アームと本体の間に手や足を挟まないように注意**
- **調節後は、アームが確実に固定されていることを確認**
- **アームを回転させる前に周囲に人や障害物が無いか確認**
- **運動前後は、スタート位置を「0」に戻す**

参考

- **スタート位置「０」のまま、カムだけの調節でスタート位置を設定することもできます。但し、バイオメカニカルに沿ったトルク曲線ではなくなるのでご注意ください。**

杖ホルダーについて

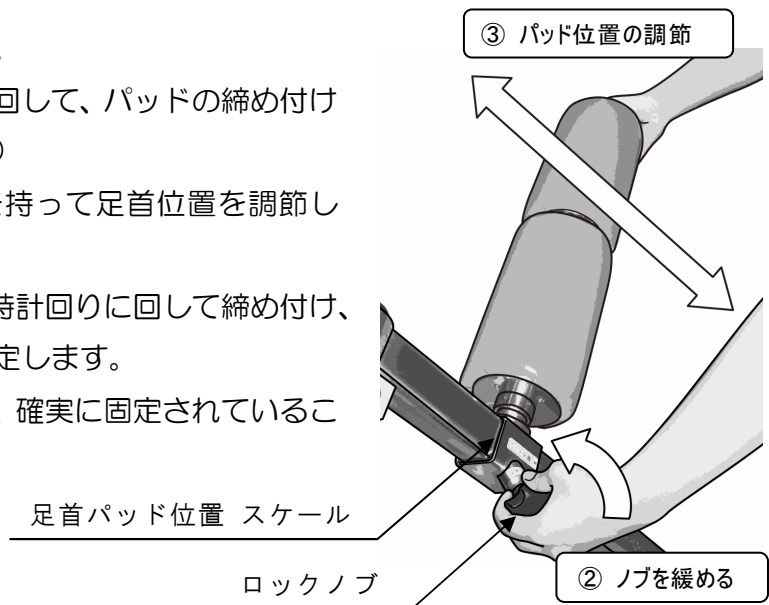
杖歩行者が運動する際の杖置き場です。

 注意　・杖の把持部の向きに注意し、運動中に可動部と干渉しないことを確認

・杖ホルダーに**差し込んだ杖に、横方向への無理な力を掛けない**

足首パッド位置の調節について

足首パッド位置は、アームの回転軸の中心から 足首パッドの中心まで 19～37㎝(ストローク:18㎝)の範囲で無段階に調節でき、アームのスケールで確認できます。

① 足首パッドを手で支えます。
② ロックノブを反時計回りに回して、パッドの締め付けを緩めます。（１回転程度）
③ 足首パッドの先端とノブを持って足首位置を調節します。
④ 固定したい位置で、ノブを時計回りに回して締め付け、足首パッドをしっかりと固定します。
⑤ 足首パッドを軽くゆすって、確実に固定されていることを確認します。

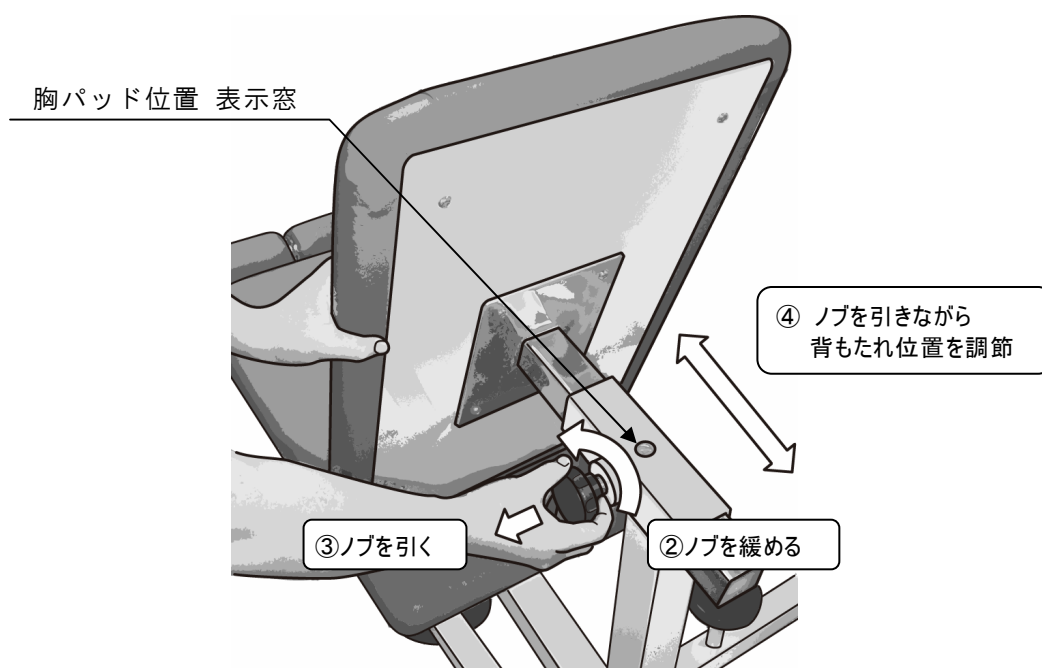
③ パッド位置の調節
足首パッド位置 スケール
ロックノブ
② ノブを緩める

注意 ・足首パッド位置は、必ず足首パッドを支えながら調節
・調節後はロックノブが確実に締まっていることを確認

参考

ロックノブは緩めすぎないでください。ノブが抜け落ちる恐れがあります。

背もたれ位置の調節について

背もたれ位置は 25 ㎜刻みで 5 段階(100 ㎜)に調節でき、表示窓にスケールで表示されます。

① 背もたれを持ちます。
② ダブルロックノブを反時計回りにして緩めます。（1 回転程度）
③ ノブを引いて、背もたれの固定を解除します。
④ ノブを引きながら、背もたれ位置を調節します。
⑤ 固定したい位置付近でノブを戻し、背もたれを少し前後させてノブのピンを背もたれの穴に入れ、位置を決めます。
⑥ 背もたれを動かしてピンが入っていることを確認します。
⑦ ノブを時計回りに回して締め付け、背もたれをしっかりと固定します。

注意 ・**背もたれを強く押し引きしない**
・**調節後は、ピンが背もたれの穴にきちんと入っていること、ノブに緩みがないことを確認**
・**機器の使用終了後、背もたれを前の位置（スケール番号 5）に固定する**

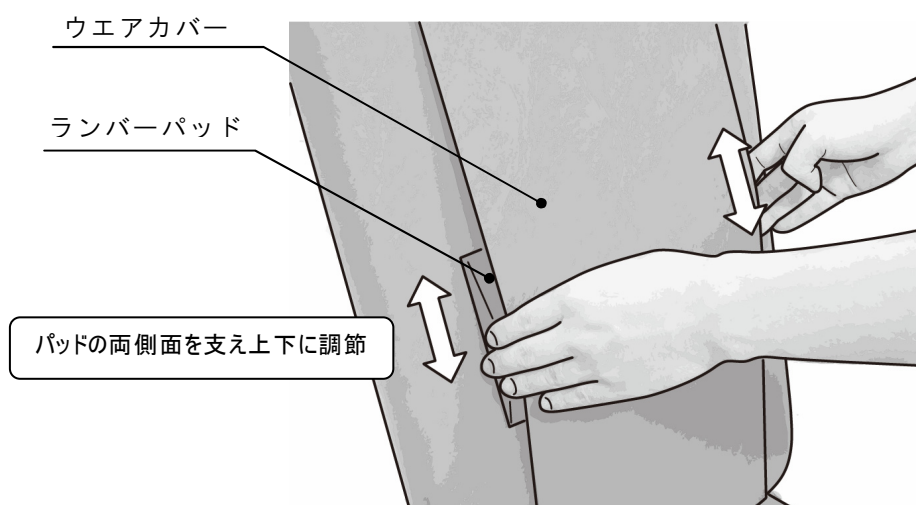
参考

ダブルロックノブは緩めすぎないでください。1 回転程度緩めてノブを引き上げると調節が可能です。

ランバーパッドについて

背もたれマットとウエアカバーの間にはランバーパッドが装備されています。ランバーパッドを使用することにより、体幹の安定性を向上させることができます。また使用しないときは取り外すことも可能です。

位置調節

① ウエアカバーの両側から手を入れて、ランバーパッドの両側面を支えます。
② 上下に動かして調節します。

取り付け・取り外し

① 片手をウエアカバーの中に入れます。
② ランバーパッドの厚みより少し大きめのスペースを作ります。
③ ランバーパッドの中央の厚い部分を持って差し込み または 引き抜きます。

注意　ランバーパッドの取り付け・取り外しするときは、

- **必ず中央の厚い部分を持つ**
- **ウエアカバー内側の折り返し部分をまくり上げたまま使用しない**

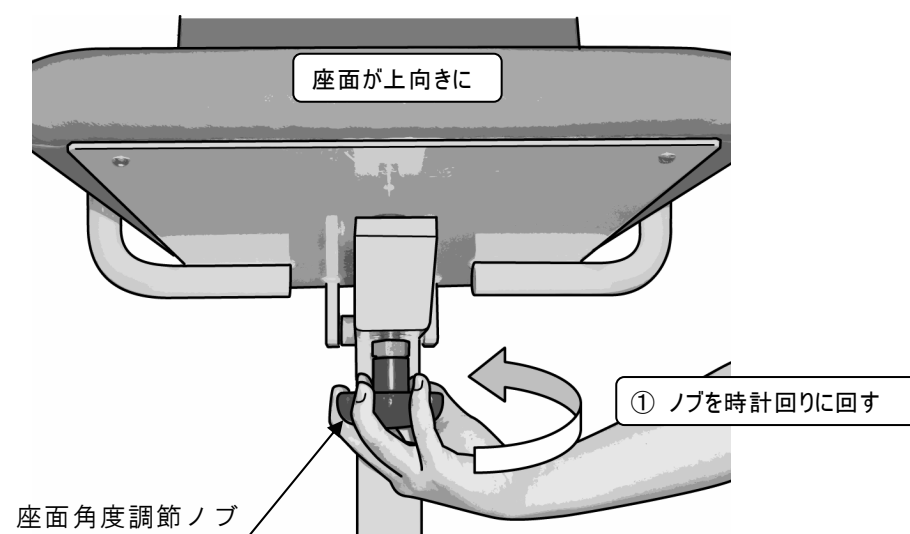
取り外したランバーパッドは紛失しないように注意してください。

座面角度の調節について

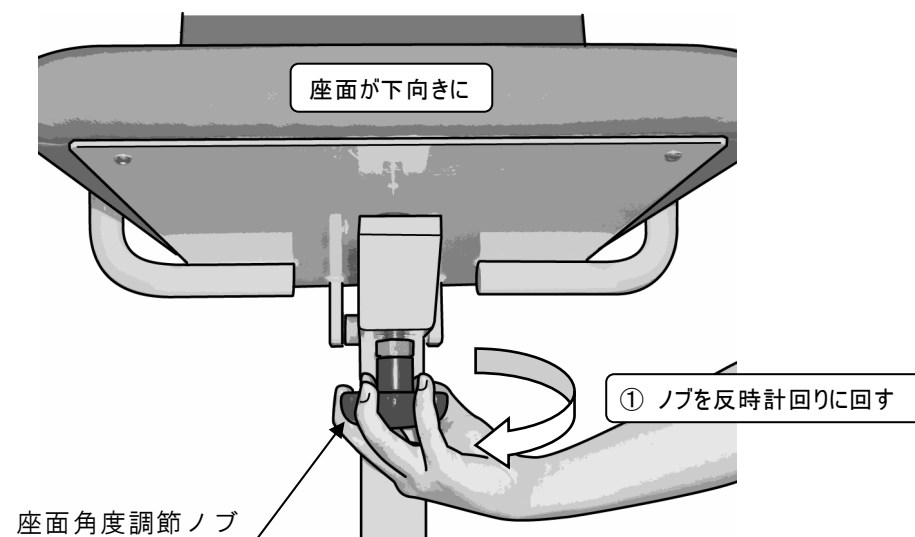
アームの回転軸と膝関節の位置を合わせるために、座面角度を上向きや下向きに調節できます。

上向き

① 座面の下にある座面角度調節ノブを、向かって時計回りに回します。

② 使用者の膝関節の位置が、アームの回転軸と合うように調節します。

下向き

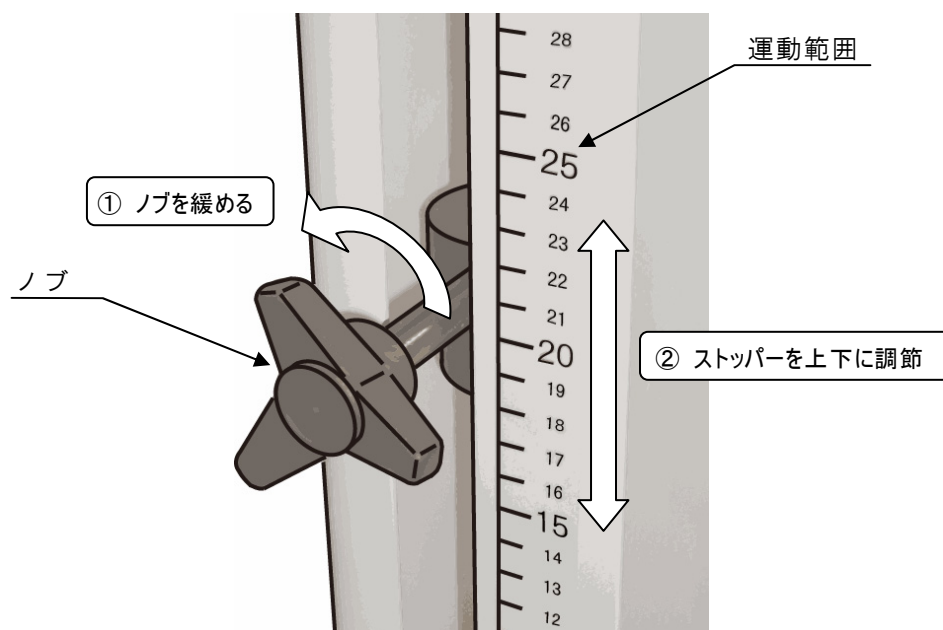
① 座面の下にある座面角度調節ノブを、向かって反時計回りに回します。

② 使用者の膝関節の位置が、アームの回転軸と合うように調節します。

運動範囲の設定について

エンドストッパーの位置を調節することにより、運動範囲（アームの可動範囲）を設定できます。

エンドストッパーの調節方法

運動範囲はエンドストッパーのバーが差し示したスケールで確認できます。

① ノブを反時計回りに回して、エンドストッパーの締め付けを緩めます。（半回転程度）
② ストッパーを上下に動かして位置を調節します。
③ ノブを時計回りに回して締め付け、ストッパーを固定します。

注意
- **エンドストッパーはしっかりと固定する**
- **エンドストッパーにウエイトを強くぶつけたり、ウエイトが接触した状態からさらに強い力をかけない**
- **ノブは緩めすぎない**

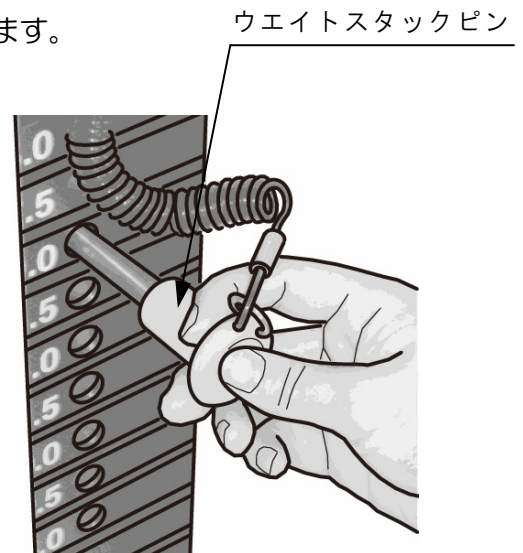
参考

機器を使用しないときは、エンドストッパーを最下部まで下げて固定しておくと、アームの動きを抑えることができます。

ウエイトの設定について

本製品では使用者の運動レベルに応じて 12 段階のウエイト質量に設定できます。

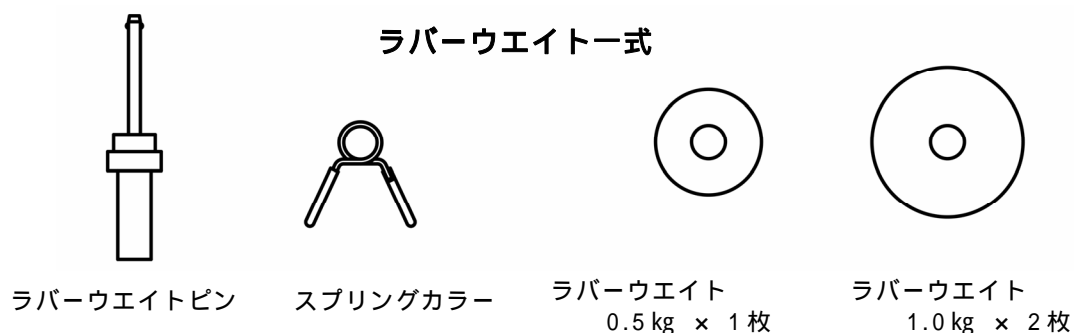
2.5 kg～30 kg（2.5 kg刻み，12 段階）

① ウエイトが全て一番下に下りていることを確認します。
② マグネットで固定されているピンをウエイトから抜き取ります。
③ 設定したいウエイトの中央の穴にピンを差し込みます。
④ ピンを完全に根元まで差し込んで、マグネットで固定します。
⑤ ピンを少し動かして、抜けないことを確認します。
⑥ アームを少し動かして、ウエイトが確実に持ち上がることを確認します。

警告
- **ウエイトスタックピンを操作するときは、必ずウエイトが一番下にあることを確認**
- **ウエイト質量を調節するたびに、必ずピンがマグネットで固定されていることを確認**
- **運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない**

参考

機器の使用終了後、ウエイトスタックピンを最下部のウエイトに差し込んでおくと、アームの動きを抑えることができます。

ラバーウエイトについて

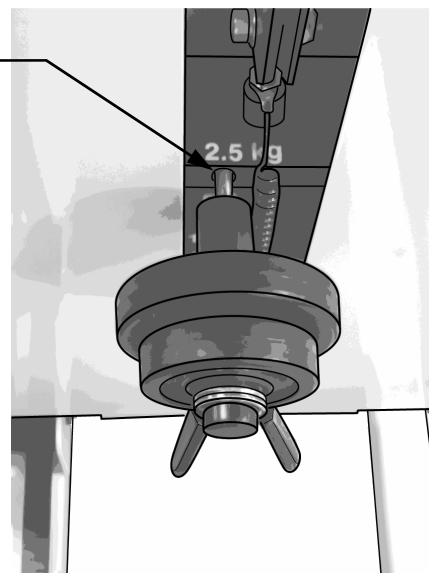
ラバーウエイト 0.5kg と 1.0kg を組み合わせることにより、ウエイト質量をより細かく 0.5kg 刻みの 4 段階に設定できます。

① ラバーウエイトピンを一番上のウエイト（2.5 kgと表示のもの）の左側の穴に取り付けます。奥までしっかりと差し込んでマグネットで固定します。

② ピンを少し動かして、マグネットが効いていることを確認します。

③ 追加するラバーウエイトをピンに取り付けます。つばに当たるまでしっかりと通してください。0.5kgと1.0kgを両方とも使用する場合は、1.0kgを先に取り付けます。

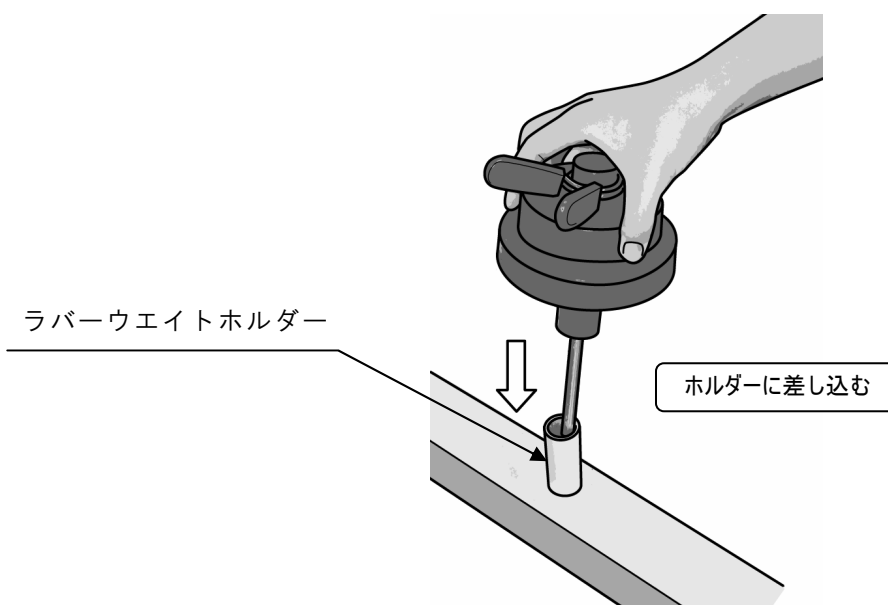
④ スプリングカラーのつまみを持ち、両方を近づけるように握ったままピンにはめ込みます。カラーはラバーウエイトにしっかりと押し付けてください。

⑤ カラーのつまみから手を放すと、ラバーウエイトがピンに固定されます。

⑥ カラーを少し動かして、抜けないことを確認します。

注意・ラバーウエイトピンには、付属のラバーウエイト以外は取り付けない

- **ラバーウエイトピンは、一番上のウエイトにしっかりと取り付け、ピンがマグネットで固定されていることを確認する**
- **スプリングカラーは必ず使用し、ラバーウエイトにしっかりと押し付け、確実に取り付ける**
- **ラバーウエイトピンをウエイトスタックピンとして使用しない**
- **ラバーウエイトピンに取り付けるラバーウエイトは 2 枚までで、最大 2.0kg までにする**

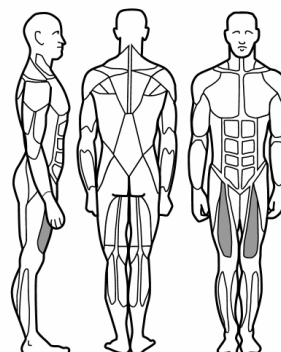
参考

ラバーウエイト、ラバーウエイトピン、スプリングカラーを使用しないときは、座面下後方のラバーウエイトホルダーに保管できます。

❊基本的な運動方法

コンパクト　レッグ EXT による基本的な運動方法について説明します。その他応用的な運動方法については､専門の医師や指導員の指示に従って行ってください。

レッグエクステンションでの使用筋肉

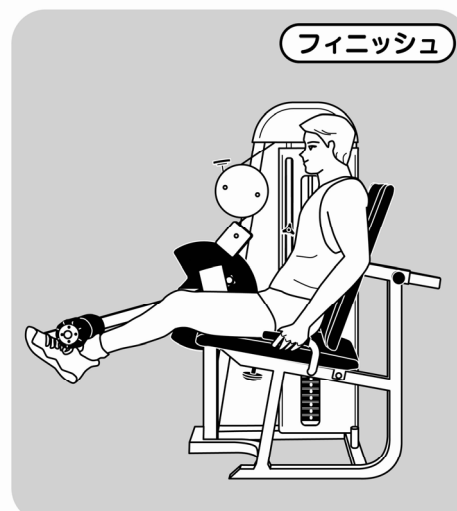
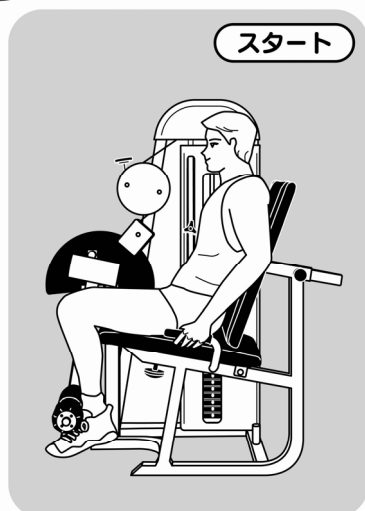
レッグエクステンション動作による関節の動きは、膝関節伸展です。それにより大腿四頭筋のトレーニングを行うことができます。

○関節の動き	○使用される筋肉
膝関節伸展	大腿四頭筋

基本的な姿勢の設定

各部の調節方法については、**操作方法**　の項を参照してください。

① アームの回転軸が膝の軸と一致するように、背もたれ位置と座面角度を調節します。
② ランバーパッドの位置を体格に合わせて調節します。
③ 下腿部が地面とほぼ垂直になるようにアーム角度を調節します。
④ パッドが足首に当たるように足首パッド位置を調節します。

注意　**・床に障害ないことを十分に確認**
・各調節部の固定は確実に行う
・無理な姿勢での運動は行わない

基本的な動作

① エンドストッパーの位置を調節し、適切な運動範囲を設定します。
② 適切なウエイト質量を設定します。より細かく設定する場合は、ラバーウエイトを使用してください。
③ グリップを軽く握ります。
④ 片脚または両脚をゆっくりと伸ばします。
⑤ 膝が軽く伸びてウエイトがエンドストッパーに当たったら、ゆっくりと元の位置に戻していき、静かにウエイトを下のウエイトにつけます。
⑥ ④～⑤の動作を繰り返します。

警告
- **運動を行う際は、周囲に他の人や障害物がないことを確認してから行う**
- **運動中は可動部に手足を近づけない**
- **運動中は絶対にウエイトスタックピンを操作しない**
- **運動前後は、エンドストッパーを最下位にして固定し、ウエイトスタックピンを一番下のウエイトの穴に入れアームをロックする**
- **運動中は他の人が機器に接近した場合は、運動を一時中止する**

注意
- **運動中は絶対にプランジャーを操作しない**
- **運動中は足首パッドから脚を放さない**
- **過負荷となるような無理な運動は絶対に行わない**

参考

・適切なウエイト質量、運動範囲、及び運動回数等については、専門の医師や指導員の指示を受けるようにしてください。
・運動の際は反動をつけて力を入れないでください。効果的な運動ができなくなります。

❊お手入れの仕方

- 本体についた汗や汚れはすぐに乾拭きしてください。
- ビニールレザーの清掃は、通常は乾拭き、水拭き、又はうすめた中性洗剤を使用してください。アルコール・シンナー等の溶剤や、漂白剤は使用しないでください。

❊機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、ゴムマット上で安定していることを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 または、スパナ等による確認
	ウエイトベルトの損傷	ベルトに傷・変形・磨耗などないことを確認
	ウエイトベルトの固定、張り	ベルトの両端がしっかり固定されていること、たるんでないことを確認
	座面マット，背もたれマット，足首パッドの破れ、汚れ	目視
機能	グリップの状態	グリップを握ってラバーが抜けないこと、切れたりしていないことを確認
	固定部のロック (足首パッド、アーム角度、背もたれ、座面角度、ウエイトスタックピン、エンドストッパー)	各固定部のロックを確認
	背もたれの動き	背もたれがスムースに調節でき、固定がしっかりしていること
	アーム・ウエイトの動き	動きがスムースであることを確認

❊保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは５年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*COP-1202C*
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバー等を外したり、分解しないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。
  マット / パッド / グリップカバー
- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。
  ウエイトベルト

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

※仕 様

コンパクト レッグＥＸＴ　　　　ＣＯＰ－１２０２Ｃ

項目		仕様
外形寸法		1150(W) ×1040(D) ×1490(H) mm
総 質 量		180 kg
材 質	フレーム	スチール製，粉体塗装仕上げ
	ウエイト	スチール製，粉体塗装仕上げ
	アーム	スチール製，クロムメッキ仕上げ
	カム	プラスチック製
	プーリー	プラスチック製
	ウエイトベルト	ポリウレタン製，ワイヤー入り
	腿、足首パッド	ビニールレザー製
	背もたれ 座面マット	ビニールレザー製
ウエイト枚数		12 枚（2.5 kg）
ウエイト合計質量		30 kg
付属品		ラバーウエイト（0.5 kg×1 枚,1.0 kg×2 枚） ラバーウエイトピン　１個 スプリングカラー　１個 足受ゴム　４枚 杖ホルダー　１個

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。